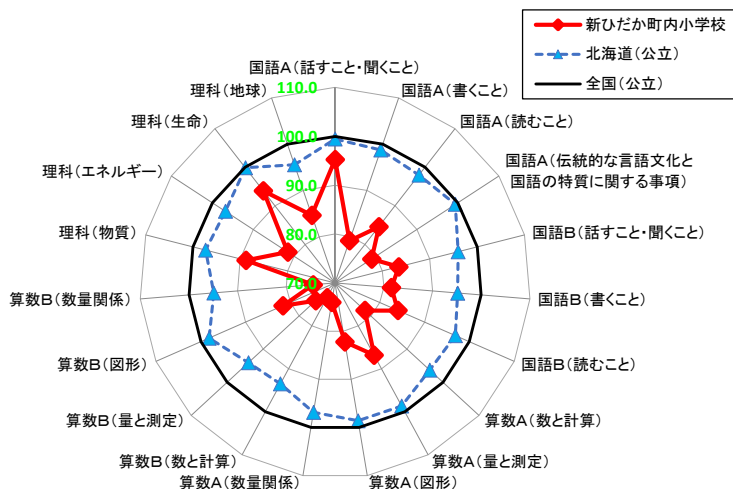


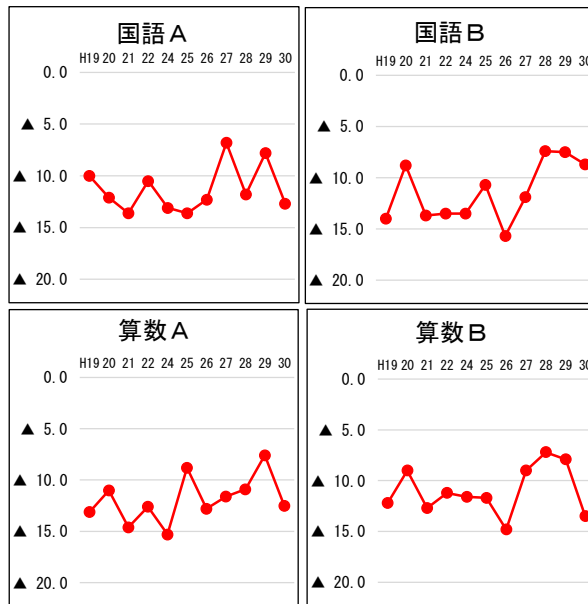
■新ひだか町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:178人)

【教科全体の状況】

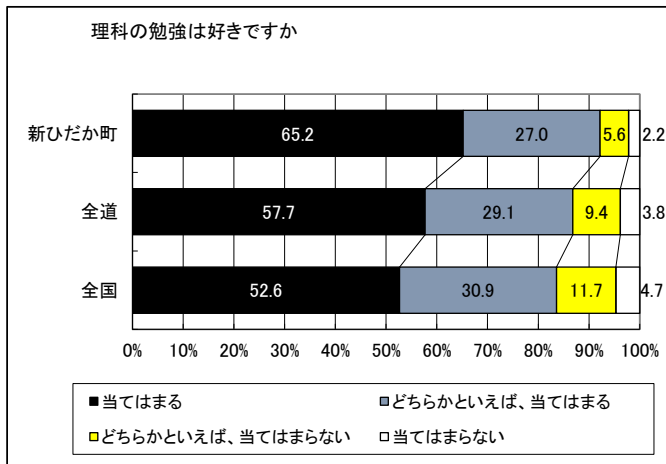
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



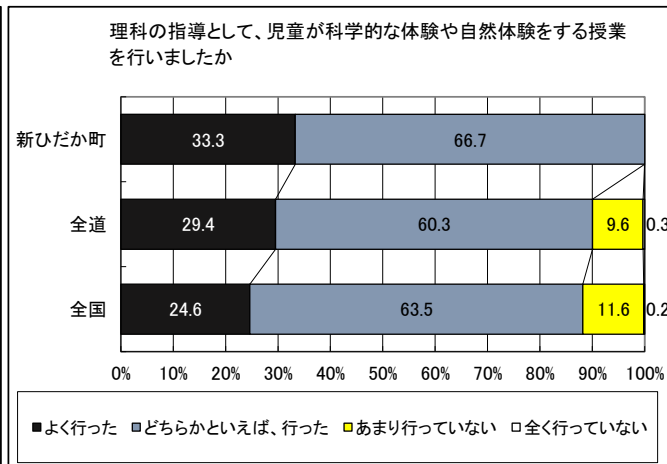
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、各学校において児童が科学的な体験や自然体験をする授業を積極的に行なったことにより、「理科の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の指導として、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【新ひだか町の学力向上策】

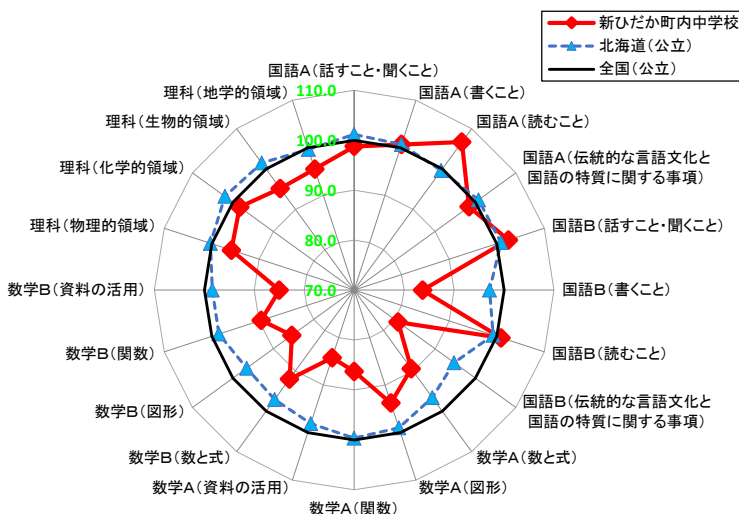
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づいた授業改善及び家庭での生活リズムの改善と家庭学習習慣の定着
- ◎ 主体的・対話的で深い学びを実現するための問題解決的な学習過程を位置付けた授業改善
- ◎ 学習内容の理解と情報活用等の資質能力向上のための授業におけるICT機器の日常的な活用
- ◎ 外国語教育巡回指導教員の活用、「小学校外国語活動実践資料集」の作成など、小学校外国語教育の充実に向けた取組の推進
- ◎ 町教委主催の学力向上推進会議を通じた標準学力検査結果の分析・活用と学校間連携による優れた実践の共有

■新ひだか町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:166人)

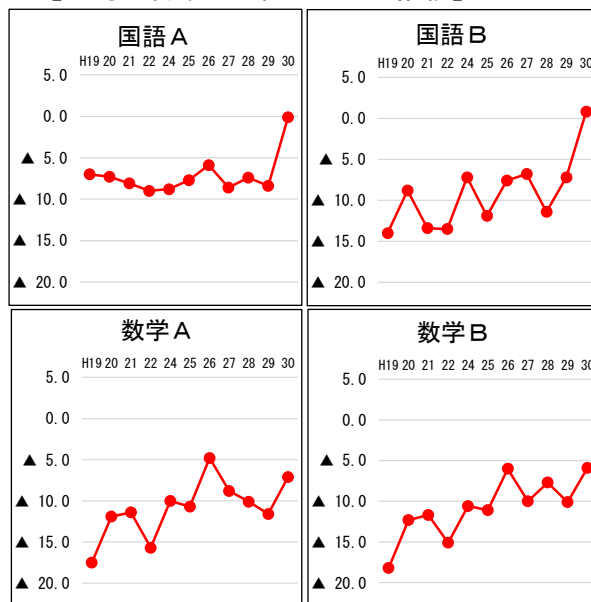
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

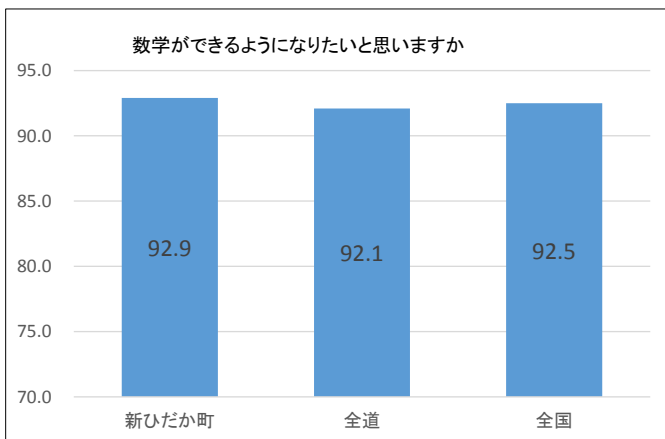
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



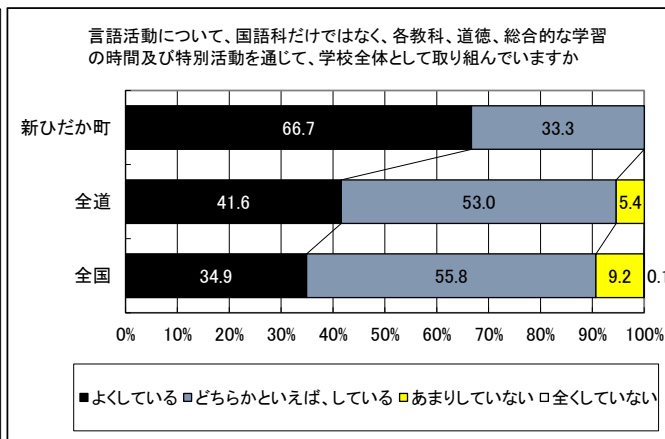
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、国語の4領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 問題解決的な学習過程を位置付けたり、ICT機器を効果的に活用したりすることにより、生徒の数学への興味・関心が高まり、「数学ができるようになりたい」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学ができるようになりたい」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【新ひだか町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づいた授業改善及び家庭での生活リズムの改善と家庭学習習慣の定着
- ◎ 主体的・対話的で深い学びを実現するための問題解決的な学習過程を位置付けた授業改善
- ◎ 学習内容の理解と情報活用等の資質能力向上のための授業におけるICT機器の日常的な活用
- ◎ 町教委主催の学力向上推進会議を通じた標準学力検査結果の分析・活用と学校間連携による優れた実践の共有